

プレスリリース [2024年8月23日]

(計2枚)

**「両大戦間のモダニズム：1918-1939 煌めきと戸惑いの時代」展
を開催します**

1920年代のフランスとアメリカは、第一次世界大戦後の好景気に沸き「狂騒の時代」と呼ばれる華やかな時代を迎えました。自動車や飛行機といった工業的なモチーフ、サーカスやキャバレーの喧騒、最新のファッションを身にまとうモダンガールなどからインスピレーションを得たアーティストたちの作品は、現代への賛美ともいえるものでした。

一方でこの時代にはドイツを中心に、戦争の惨禍を深く刻み込んだ作品や、享樂的な世相への皮肉、あるいは近代化に対する不安感を表現した作品も生まれました。事実、世界恐慌やファシズムの台頭によって平和な時代は10年ほどで終焉を迎え、1939年の第二次世界大戦勃発によってアートシーンは大きく揺さぶられることとなります。

本展覧会では、ふたつの世界大戦の狭間にあたる約20年間に焦点を当て、モダニズムの時代を版画に表したアーティストたちの作品230点を展示します。パリのファッション雑誌を彩った色彩豊かなポショワール（ステンシル）、市井の人々の生活を描き出したドイツの版画集、シュルレアリストの実験的な銅版画など、社会の変革期につくられた作品は100年後を生きる私たちに何を問いかけてくるのでしょうか。

■会 期：2024年9月14日（土）～12月1日（日）

休館日：月曜日

*ただし9月16日（月・祝）、9月23日（月・振休）、10月14日（月・祝）、11月4日（月・振休）は開館し、翌火曜日は休館

■会 場：市立国際版画美術館（原町田4-28-1）**■開館時間：**平日＝午前10時～午後5時

土日祝＝午前10時～午後5時30分

※入場は閉館30分前まで

■観 覧 料：一般800円、大・高生400円、中学生以下無料

※展覧会の詳細は、国際版画美術館公式サイト（<https://hanga-museum.jp/>）または、記者ボックスに投函したチラシをご覧ください。

■ プレス内覧会：2024年9月13日（金）午後1時30分～2時30分

※最初に学芸員が展示室をご案内します。午後5時まで展示室内覧可能（最終受付 午後4時30分）。

※午後3時～4時30分は、一般内覧会と同時開催となりますのでご了承ください。

※本展ではレセプションは開催いたしません。上記時間内にご観覧ください。

※内覧会当日に限り、本展図録を1団体につき1冊贈呈します。

※内覧会に参加される場合は、記者ボックスに投函した招待状をご持参ください。

■ 本件に関するお問い合わせ先

文化スポーツ振興部国際版画美術館 副館長 星野中 Tel 042-726-2771